

会社概要

(2014年12月31日現在)

会社名	メディカル・データ・ビジョン株式会社	代表取締役社長	岩崎 博之
証券コード	3902	専務取締役	浅見 修二
設立	2003年8月	取締役	柳澤 卓二
資本金	8億8,365万円	取締役	福島 常浩
本社所在地	東京都千代田区神田美土代町7番地 住友不動産神田ビル10階	取締役	木村 右子
事業内容	医療情報統合システムの開発、製作、販売、保守業務 各種医療データの分析、調査、コンサルティング業務 医療機関向け経営コンサルティング業務 各種医療データの運用及び提供サービス業務 ポータルサイトの企画、設計、開発、運営	取締役	川野 隆清
従業員数	141名	取締役	志村 一男
		常勤監査役	山田 道雄
		監査役	中川 治
		監査役	濱田 清仁

ホームページのご案内

当社では、ホームページにて即時情報開示に努めております。是非ご利用ください。

<http://www.mdv.co.jp/>



コーポレートサイト



IRサイト



メディカル・データ・ビジョン株式会社

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7番地 住友不動産神田ビル10階

TEL:03-5283-6911 FAX:03-5283-6811

MDV REPORT

2014年12月期 事業報告書 Vol.1

(2014年1月1日～2014年12月31日)

メディカル・データ・ビジョン株式会社



証券コード：3902

Contents

株主の皆様へ	02
MDVの経営理念	03
MDVが目指す社会	04
事業概要	05
業績ハイライト	07
Topics	09
株式情報	10
会社概要／ホームページのご案内	裏表紙



MDVの社名とロゴの意味

メディカル・データ・ビジョンという社名には、“豊富な実証データに基づいた医療の実現”という意味が込められています。ロゴのオレンジは温かみ・活力を、ホワイトは清潔さ・健康を表しています。オレンジの四角が末広がり広がっていくのは、膨大に蓄積された医療・健康情報を有効活用することで、生活者にとってのメリットが次々と創出されることを表現しています。医療や健康分野のICT化を推進し、人々の健やかな生活に貢献したいという想いがこのロゴに込められています。

Top Message

株主の皆様へ

2014年12月16日、
当社は東京証券取引所マザーズ市場に
上場いたしました。

代表取締役社長
岩崎 博之



当社は2003年8月の設立以来、“豊富な実証データに基づいた医療の実現”の志を胸に事業を展開してまいりました。創業の背景には、医療・健康分野のICT化が遅れていること、それに伴って医療・健康情報が利活用されていないこと、生活者が生涯を通じて自身の医療情報を把握できないこと、などに対する問題意識がありました。

当社はこれらの問題をクリアにし、情報の利活用による今以上の医療の質向上はもちろんのこと、生活者が生涯を通じて自身の医療・健康情報を把握できる社会、それらの情報をもとにして自身で医療・健康分野のサービスを選択できる社会の実現を目指しています。

その目標に向かって、事業成長の機会を積極的に獲得するために、当社は、2014年12月16日、東京証券取引所マザーズ市場に

上場いたしました。皆様からの温かいご支援、ご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

上場後初の決算となる2014年12月期は、売上高1,950百万円（前期比27.5%増）、営業利益260百万円（同24.2%増）、経常利益248百万円（同18.1%増）、当期純利益135百万円（同33.9%減）となりました。

今後も社員一同、誰にもなせなかった社会の現実に向けて、“豊富な実証データに基づいた医療の実現”の想いのもとにまい進していく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2015年3月吉日

Our Philosophy

MDVの経営理念

私たちが目指すこと

私たちは、医療や健康分野での革新的な活動を通じ、生活者のメリット創出に貢献します。

私たちの使命

私たちは、医療や健康分野のICT化を推進し、情報の高度活用を図ります。

私たちがお約束すること

—医療や健康に関わる全ての皆さまに—

私たちは、皆さまの立場で考え抜き、課題解決を通じてともに発展することを目指します。

—ともに働く仲間たちに—

私たちは、傍観者ではなく全員が主役です。立場を超えた有益な意見交換を歓迎します。

私たちが大切にしたい

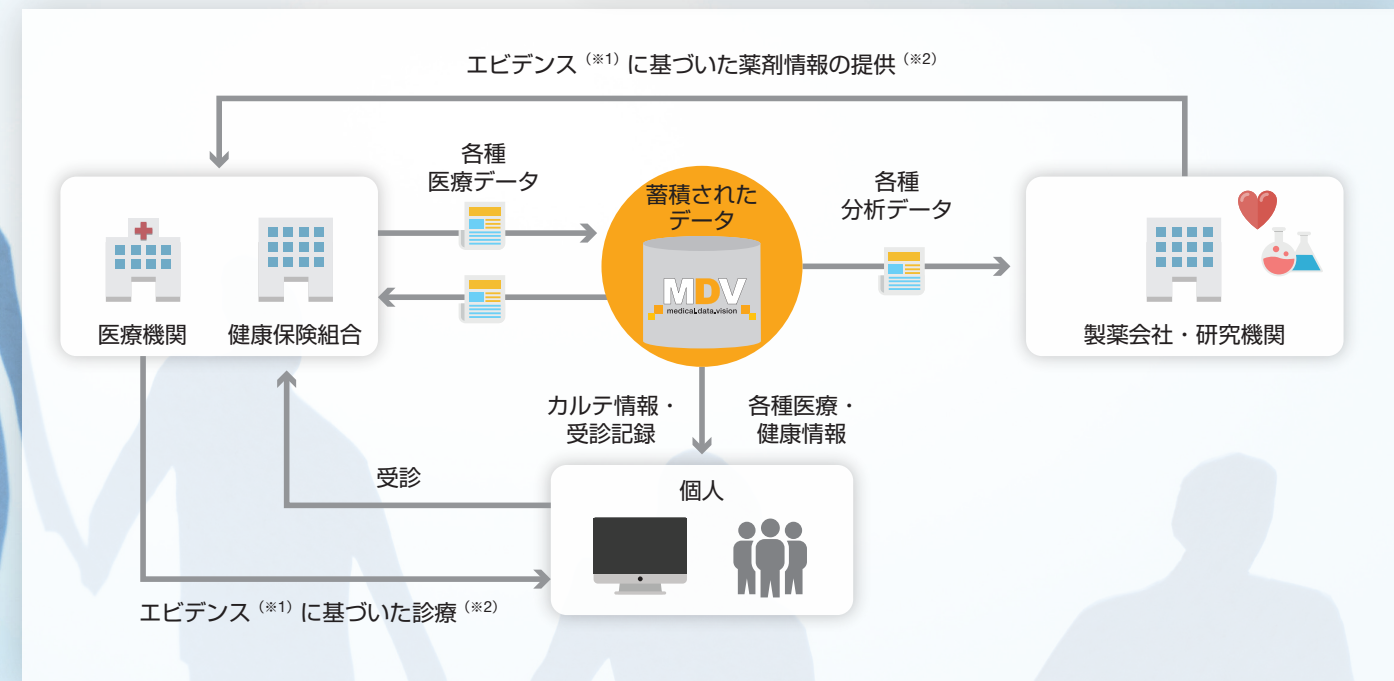
「正々堂々」私たちは、いつでも、どこでも、そして誰に対しても「正々堂々」とした企業活動を行います。

Our Vision

MDVが目指す社会

生活者が、生涯を通じて自身の医療・健康情報を把握できる社会
それらの情報をもとに、自身で医療・健康分野のサービスを選択できる社会

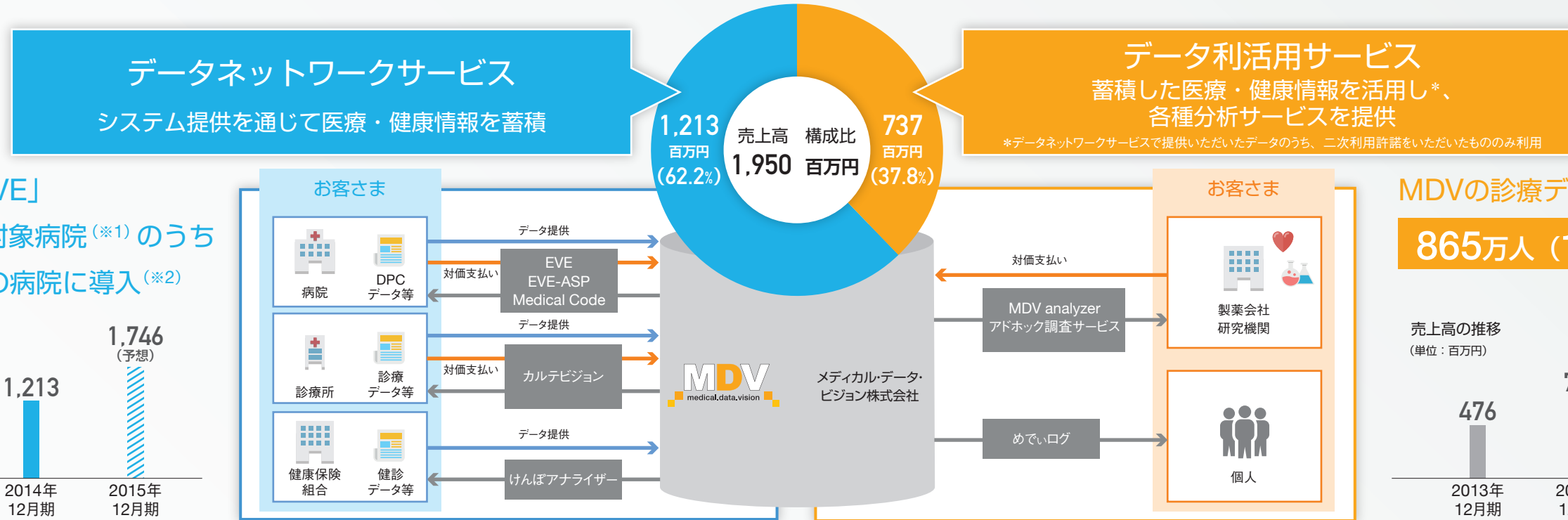
医療情報には医療業界はもちろんのこと、生活者にとっても有益な情報が多く含まれています。
MDVは、生活者が医療・健康情報を自分自身で把握できる社会を目指すとともに、医療の質向上のためのデータ利活用を推進してまいります。



(※1) 薬・治療方法・検査方法などの医療の内容について、それがより適切だと判断できる証拠のこと。

(※2) エビデンスに基づいた診療、薬剤情報の提供とは、いわゆるEBMを意味します。EBMとは、Evidence based medicineの略で、根拠に基づいた医療を意味し、臨床研究結果を医療現場の意思決定に用いる方法です。医師個人の限られた経験や勘だけではなく、利用可能な設備や時間などの制限、患者さん固有の事情や意思なども総合的に判断して、科学的な根拠がある治療法を選択しようという考え方を示しています。

当社の事業は、医療機関などへのシステム提供を通じて医療・健康情報を蓄積する「データネットワークサービス」と、蓄積された情報を活用し、製薬会社などへ各種分析サービスを提供する「データ利活用サービス」で構成されています。



製品・サービス

サービス対象者	製品・サービス名称	概要
病院	EVE	DPC データを活用し、自院の診療内容や状況を他院と比較しながら分析できるシステム
	EVE-ASP	他院の実名が公開された診療内容を閲覧する事ができるサービス ※ただし、自院の名称を実名公開する場合のみ
	Medical Code	原価管理等、病院経営全体に関わる事項を分析できるシステム
診療所	カルテビジョン	電子カルテソリューション
健康保険組合	けんぽアナライザー	医療費・健康課題分析等、医療費適正化に向けた課題を抽出できるシステム

製品・サービス

サービス対象者	製品・サービス名称	概要
製薬会社・研究機関等	MDV analyzer	急性期医療機関の薬剤処方実態を日単位で分析できる WEB 分析システム
	アドホック調査サービス	「MDV analyzer」の分析メニューでは対応できない、製薬会社の個別ニーズに対応するサービス
個人	めでいログ	健康保険組合の加入者が、自身の検査結果や処方薬等の情報を管理・閲覧できるサイト (無償提供)

(※1) 「DPC対象病院」とは、「DPC」を導入している病院です。「DPC」については9ページをご参照ください。

(※2) 2014年12月末時点。

Financial Highlights 業績ハイライト

当期(2014年12月期)の業績

当期の業績は、売上高1,950百万円(前期比27.5%増)、営業利益260百万円(同24.2%増)、経常利益248百万円(同18.1%増)、当期純利益135百万円(同33.9%減)となりました。なお、当期純利益の前期比減は、税務上の累積損失を一掃したことに伴う法人税等調整額の増加によるものです。
各サービス別の主な販売等の状況は右の通りです。

(データネットワークサービス)

DPC分析ベンチマークシステム「EVE」の販売：58病院(累計導入数705病院)
病院向け経営支援システム「Medical Code」の販売：32病院(累計導入数131病院)

(データ利活用サービス)

診療データ分析ツール「MDV analyzer」の利用社数：10社
診療データベース規模：161病院分(実患者数で865万人分)

次期(2015年12月期)の見通し

次期の業績につきましては、売上高2,622百万円(前期比34.4%増)、営業利益262百万円(同0.6%増)、経常利益262百万円(同5.5%増)、当期純利益146百万円(同7.8%増)を見込んでおります。
DPCデータに留まらず、カルテ情報を永続的に取得できるように、電子カ

ルテ・オーダリングシステム・レセプトコンピュータ等の基幹システム分野への進出を計画しております。病院のみならず診療所等への事業拡大等、永続的に取得するインフラ及びデータベース作りを通じて、更なる医療の質向上と、事業の安定化を目指します。

財務諸表(要約) (単位：百万円)

貸借対照表

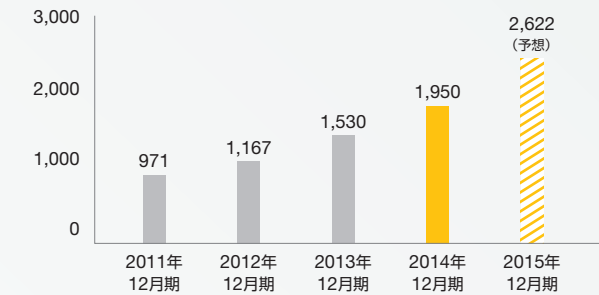
	前期 2013年12月31日現在	当期 2014年12月31日現在
流動資産	1,140	2,274
固定資産	193	376
繰延資産	—	7
資産合計	1,333	2,659
流動負債	222	361
固定負債	16	25
負債合計	239	387
純資産合計	1,094	2,271
負債純資産合計	1,333	2,659

損益計算書

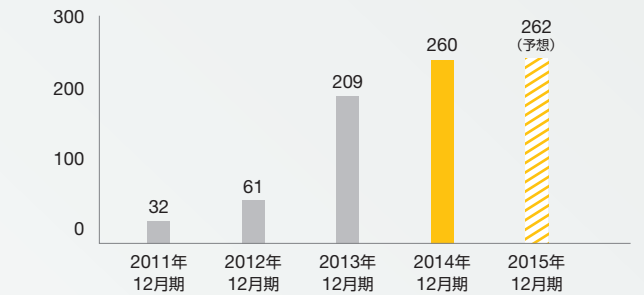
	前期 2013年1月1日から 2013年12月31日まで	当期 2014年1月1日から 2014年12月31日まで
売上高	1,530	1,950
売上総利益	1,242	1,565
営業利益	209	260
経常利益	210	248
税引前当期純利益	209	244
当期純利益	204	135

(単位：百万円)

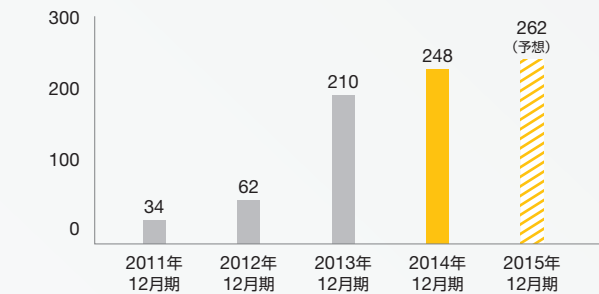
売上高



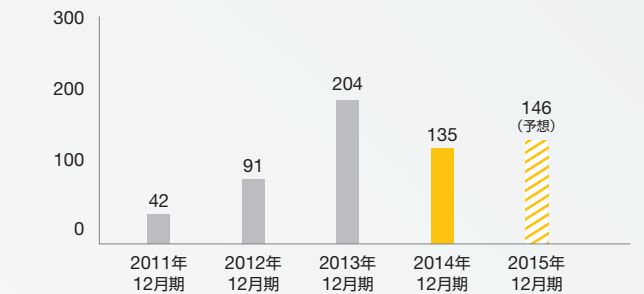
営業利益



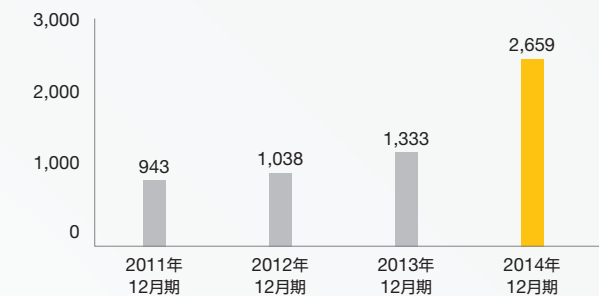
経常利益



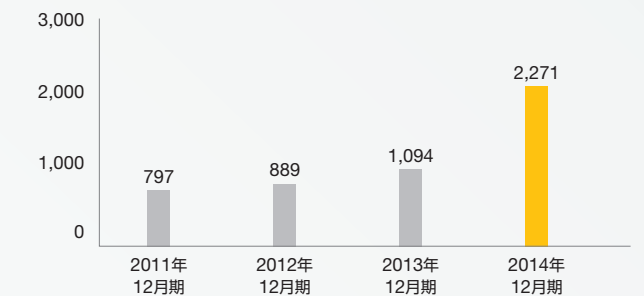
当期純利益



総資産



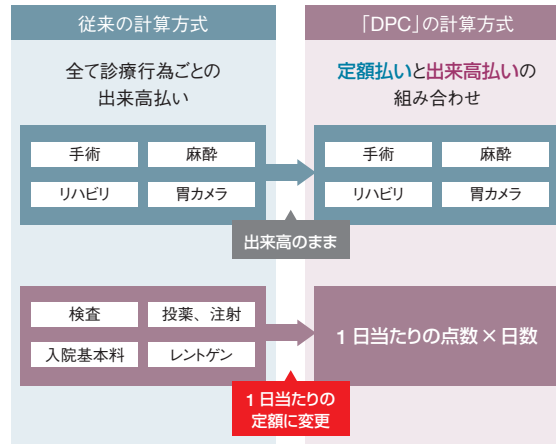
純資産



「DPC」の普及により、診療データの標準化が進み、当社のデータベース構築において大きな追い風となりました。「DPC」は当社事業を理解いただく上での、キーワードのひとつです。ここではその「DPC」について解説します。

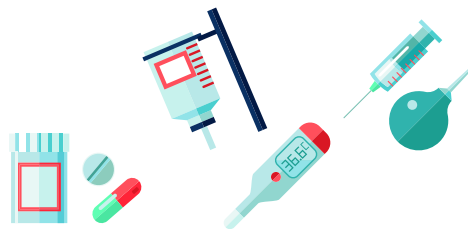
「DPC」とはどのようなものですか？

「DPC」とは、急性期病院医療を対象とした、診療報酬にかかる入院時における1日当たりの包括払い制度のことです。従来の出来高方式とは異なり、1日当たりの定額の点数からなる包括評価(入院基本料、投薬料、注射料等)と出来高評価(手術料、食事代等)を組み合わせることで入院費を計算する方法となります。



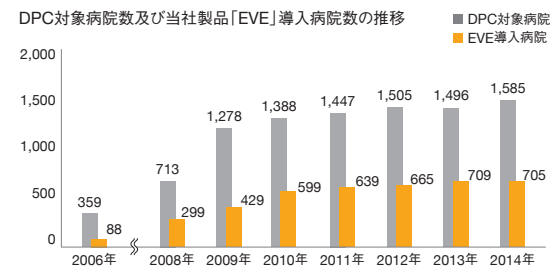
メリットはなんですか？

「DPC」により、病院は質を上げ効率的な治療を行うことで収益性が高まる、患者はより効果的で効率的な治療が受けられる、というように、「DPC」は、病院、患者双方にとって大きなメリットがあります。



どのくらい導入されているのですか？

2003年に厚生労働省により導入が開始され、2014年12月末現在において、全一般病院7,493のうち、1,585病院がDPC対象病院となっています。



(*) EVE導入病院数は準備病院等を含む。また、2014年度の「EVE」導入病院数の減少は医療機関の再編によるもの。

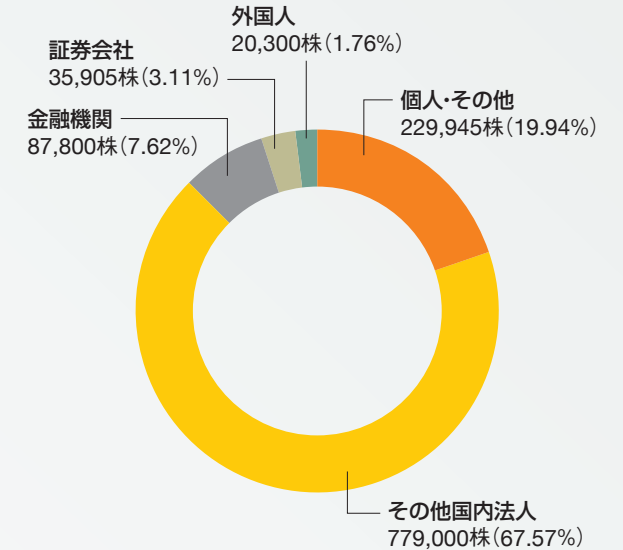
株式の状況

発行済株式の総数	1,152,950株
株主総数	781名

大株主の状況

株主名	所有株式数の割合
富士フィルム株式会社	30.61%
株式会社メディパルホールディングス	22.80%
日本証券金融株式会社	6.11%
シミックホールディングス株式会社	5.20%
西武しんぎんキャピタルTAMAファンド2号 地域産業育成投資事業有限責任組合	4.34%
三菱商事株式会社	3.47%
岩崎 博之	1.60%
浅見 修二	1.56%
棚岡 滋	1.47%
第一生命保険株式会社	1.30%

所有者別株式分布状況



※小数点第三位を四捨五入しています。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日～12月31日
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	12月31日 (そのほか必要がある場合は予め公告いたします)
期末配当金受領 株主確定日	12月31日 (なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は6月30日)
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ市場
単元株式数	100株
公告方式	電子公告により行います。 URL: http://www.mdv.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 受付時間	0120-782-031 (フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く9:00～17:00
ホームページ URL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html